

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型支援センター Yerette		
○保護者評価実施期間	令和7年 3月 12日		令和7年 3月 22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	50	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	令和7年 3月 12日		令和7年 3月 22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	令和7年 3月 12日		令和7年 3月 22日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 1
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職が配置されていること	専門的立場からの介入・助言・調整	マンパワーの充実をすべく、全県の作業療法士に対して応援を呼び掛けている
2	保育園から高校生(18歳)までを対象としていること	発達・精神・認知・身体・環境・作業などのアセスメントを通し、就労までを見据えた支援を実施	起業に対する啓発を同友会を通じて実施
3	上伊那圏域全域を対象範囲としている	移動時間の効率化	他の追随する事業所へのレクチャー

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	需要に対してマンパワーが足りていない	専門職に対するの待遇面の充実が追い付かない	賃金だけでなく、付加価値の付与
2	広範囲の地域を対象にしていること	他の事業所がなかったことがある	他の事業所へのレクチャーや研修受け入れにより、地域で対応できるようにしていく
3	身体的疾患(身体障害)に対するの介入ができない	発達・精神中心に経験を積んできたスタッフばかりであること	今後、余裕が出てくれば、専門職の確保、また研修などにより、全ての疾患・障がいに対するの介入を行いたい